

FEEL Do フォーラム 2023

『ともに考え、ともに創ろう、福祉コミュニティ』実践報告会

1. 開催趣旨

日本は、高齢化や人口減少が進み、生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。人口減少の波は、多くの地域社会で担い手の減少を招き、それを背景に、地縁組織の衰退、耕作放棄地や、空き家、商店街の空き店舗増加など、様々な地域生活課題が顕在化しています。個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とするといった状況がみられ、対応が困難なケースが浮き彫りとなっています。

このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化の中で、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野をつなぎ、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくにはどうすれば良いのでしょうか。本フォーラムでは、各地の小さく地道なチャレンジに学びます。

2. 日時

2023年11月1日(水) 13時30分～15時30分

3. プログラム

- ① 開会
- ② リレートーク

「小さな町の被災とコミュニティ機能の回復」【鳥取県】

山下 弘彦／日野ボランティア・ネットワーク 代表

2000年鳥取県西部地震で被災した鳥取県日野町。人口2,800人弱、高齢化率50%超の町で、「今、やらなければ」と続けてきた地域づくり活動。訪問活動や集う場づくりなどを通して得てきたものとは？

「暮らしを支える多様なコミュニティのあり方」【沖縄県】

宮道 喜一／NPO法人まちなか研究所わくわく 副代表理事・事務局長

私の暮らす那覇市石嶺小学校区は、人口12,000人余り、約4,800世帯が暮らし、自治会空白エリアが多くを占めます。自治会だけではない、暮らしを支える多様なコミュニティのあり方について考えましょう。

「小規模自治体のコミュニティ形成」【北海道】

篠原 辰二／一般社団法人 Wellbe Design 理事長

北海道内179市町村のうち約70%（125市町村）が人口1万人を割る小規模自治体で、更に人口密度も低いという特徴があります。小規模自治体のコミュニティ形成についてお伝えします。

「タイ・ノーンメック村の子どもが育つ村づくり」【大阪府】

栗原 英文／一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 代表理事

坂上 尚大／阪南市社会福祉協議会地域福祉グループ兼総務グループ主任、生活支援コーディネーター
農業だけでは生活が成り立たず、出稼ぎした家族からの送金に依存する村。働き盛りの世代が少ない村で2016年に始まった「子どもたちが健全に成長するコミュニティづくり」を垣間見ませんか。

「災害時そして平時からの要配慮者への関わり方」【山形県】

千川原 公彦／ウェザーハート災害福祉事務所 代表

災害サイクル（平時、災害時、復興期）も反映しながら改めて支援の在り方を確認したり、具体的なスキームや支援方策などについて、皆さんの取り組みもお伺いしたいと考えています。

- ③ フリートーク
- ④ 閉会

4. 開催形式

オンライン（ウェブ会議サービス Zoom を使用します）

5. 参加対象

- ・ 社会福祉協議会職員
- ・ 地域づくりやコミュニティづくりに携わる方

6. お申し込み

お申し込みフォーム（QR コードリンク先）よりお申し込みください。

- ・ 締切…10月27日(金)
- ・ 参加費は無料です



7. 主催・お問い合わせ先

一般社団法人 FEEL Do（代表理事 栗原英文）
大阪府大阪市城東区鳴野西 4-9-17-902
電話：090-1071-9716 メール：office@feeldo.org
<https://www.feeldo.org/>

8. 呼びかけ人

栗原 英文 一般社団法人 FEEL Do 代表理事（大阪府）
幸喜 穂乃 合同会社 Happy Joy 代表社員（沖縄県）
佐々木 優花 宮城学院女子大学 助手（宮城県）
篠原 辰二 一般社団法人 Wellbe Design 理事長（北海道）
白鳥 孝太 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 鳥取県災害福祉支援センター 特任参事（鳥取県）
菅原 清香 暮らしの学びサポートオフィス HumanBeing 代表（宮城県）
千川原 公彦 ウェザーハート災害福祉事務所 代表（山形県）
椿原 恵 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長主幹（岡山県）
鳴海 孝彦 八戸学院大学短期大学介護福祉学科 准教授（青森県）
宮道 喜一 NPO 法人まちなか研究所わくわく 副代表理事・事務局長（沖縄県）
山下 弘彦 日野ボランティア・ネットワーク 代表（鳥取県）